

令和4年度8月定例教育委員会議事録

【日時】

令和4年8月26日（金）

開会 午後1時20分

閉会 午後4時35分

【会場】

辰野町民会館 104 学習室

【出席者】

8名

(辰野町教育委員会)

教育長 宮澤 和徳

教育長代理 根橋 久人

教育委員 垣内 由佳

教育委員 関 政彦

(事務局関係)

こども課長 小澤 靖一

こども課長補佐 田中 香織

学校教育係長 翠川 俊一

学校教育係 宮澤 司

【傍聴者】

0名

【次第】

1 議事

2 協議

- (1) 【非公開】学校・保育園の様子及び運営上の諸課題
- (2) 【非公開】川島小学校統合に関わる今後について
- (3) 7月半ばのコロナ感染（保育園・小中学校の感染拡大）についての報告
- (4) 小中学校の夏休みの反省
- (5) 町教育委員会研修視察
- (6) 夏休み中の学校関係の工事進捗状況

3 報告事項

- (1) 幼保小中高校職員合同研修会
- (2) 渡邊嘉一記念碑建立・除幕式
- (3) その他

○開会

1 開会の言葉

＜宮澤教育長＞

ただいまから8月の定例教育委員会を開催させていただきます。

2 会期の決定

＜宮澤教育長＞

本日1日限りとしたいがよろしいでしょうか。

・異議なし

3 議事録の承認

＜宮澤教育長＞

7月の定例教育委員会の議事録についてご異議はありませんか。

異議なしと認め、後ほど署名をお願いします。

4 宮澤教育長挨拶

猛暑続きの夏、後半は落ち着いた天気が続いております。雨が降ればどこかで災害が起こるそんな夏でしたけど、いよいよ終わりを告げているのかそんな気がします。朝晩随分と涼しくなりました。

町内の小中学校では夏休みも終わって、元気に登校している姿、それから朝部活に励んでいる姿を見ますと私自身もホッとしています。

コロナ感染拡大が町内の小学校においても夏休み直前に発生をしました。詳細な状況については協議のところでご説明させていただきますけれど、ちょっとした隙間にコロナが入り込むなど改めて知らされました。一方で基本的な感染対策を徹底していれば感染リスクも極めて低く抑えることができるんだとわかりました。まだまだ、コロナ禍で厳しい状況ではありますけれど、2学期も大きな行事をたくさん控えていますので、感染対策を取りながら、計画どおり執り行えればと思っております。

さて、お盆明けの8月17日でありますけれど、川島区長、それから歴代の川島区長との懇談会が開催されました。詳細は後程説明させていただきますけれど、総じて良い懇談ができたなと思っておりますし、さすがの区長さんたちだなと思いをいたしました。どの区長さんからも川島の厳しい状況を的確に掴んでいる。それに、声なき声もたくさんあるんだという認識もみなさんわかっている。それだけに区長さんそれぞれ悩んでいるなとそんな感じがしました。

それでは、今日の午前中でしたけれど、平出出身の渡邊嘉一の記念碑除幕式に行ってみました。辰野町民にはあまり知られていない渡邊嘉一ですけど、今日はこんな冊子を町でつくりました。実はこの2ヵ月間一生懸命調べて7月に職員研修で1時間ほ

ど話したんですけど、その資料を作ってみました。明治から昭和にかけての実業家となると渋沢栄一ですけど、渋沢栄一と若いころから親交があって、お互いに連携しあいながら、渋沢栄一は財政面で、渡邊嘉一は技術面で日本の近代化を支えてきた実業家でございます。その方の生誕の地に今回記念碑を立てさせていただいたわけでございます。16歳で辰野を離れて上京していますので、あまりこちらには戻っていないですが、東京を中心にあるいは世界を舞台に活躍していた人ですので、町民にあまり知られていないというのは当然かとおもいますけれど、渋沢栄一と肩を並べる業績のある方で、スコットランドの20ポンド紙幣の肖像画にもなっています。外国の方がその国の肖像画になるのは普通は考えられないんですけど、フォース橋というフィヨルドに架かる橋の設計等に関わってかなり活躍した人になります。このフィヨルドは2.5キロあるところに橋を架けるんだけど、高さ100mでそこから腕を伸ばす、しかしこの間が足りない残り100mを埋めるためにどうするかという資料を見ていただきヒューマンモデルでこういう形をしても大丈夫なんだとみせた。この真ん中に乗っているのが渡邊嘉一なんですね。これがそのまま20ポンド紙幣の肖像画になりました。

辰野町から様々な芸術家だとか偉大な方がでていますが中でもその中に渡邊嘉一も1人加えていただけるとありがたい。

教育委員の皆さんは渡邊嘉一知っていましたか。旧姓は宇治橋というんですね。辰野で生まれ育って16歳までは宇治橋姓を名乗っていたんですよ。だけれど、上京されて横須賀の造船所の所長の渡邊家のお嫁になって渡邊になったということです。

それではよろしく申し上げます。

5 議事

議題なし。

6 協議

(1) 【非公開】 学校・保育園の様子及び運営上の諸課題

・宮澤教育長より説明。

(2) 【非公開】 川島小学校統合に関わる今後について

・宮澤教育長より説明。

(3) 7月半ばのコロナ感染（保育園・小中学校の感染拡大）についての報告

・宮澤教育長より説明。

〈A 委員〉

私も体験しましたが、朝はなんともなく仕事をして、夕方ちょっとだるいなと思ったから熱が出たという感じで、まさに説明の通りだなと思って、朝オクレンジャーで親御さん

たちが連絡する時は、多分元気なんです。私も元気に仕事をしていたので。本当に誰が持っているかわからない状況で、さっきもおっしゃった通り、いるかもしれないという仮定で行動をするべき。

〈宮澤教育長〉

この表は上伊那の教育長会でも出したんですよね。辰野町の事例ということですね。各市町村感染拡大が起こると報告するんですよね。そこから学んだことをお互い情報共有して各市町村で活かすってことをしています。私の説明で他の教育長さんから認識不足だとかここはおかしいんじゃないかとか出なかったんで、A小の学年閉鎖しなかったことをおかしいと思っていない。

今課題になっているのが、どのタイミングで学級閉鎖や学校閉鎖をかけるのか。非常に難しいですね。1学期の最初の頃は1人出れば学級閉鎖にしてたんですが、今1人出て学級閉鎖をしてもと思い、先ほど急遽配った※資料（当面の対応）をみていただきたい。次の校長会に出そうと考えているが、教育委員の皆さんの意見があれば聞きたい。

〈資料内容〉

1 出席停止の措置及び臨時休業の判断について

学校において感染者が発生し、感染が学校内で広がっている可能性が高い場合は、学校の全部または一部を臨時休業とする。よって単に学級内での感染者が確認されたことを以て臨時休業の措置を取ることはしないものとする。

- ① 同一の学級において複数の児童生徒の感染が判明した場合
- ② 確認された感染者が1名であっても、周囲に未診断の風邪等の症状を有する者が複数いる場合

※ ここで複数とは、単に人数に着目したのではなく、学級内における感染拡大を防止するためであり、互いの感染者の感染経路に関連がない場合や、学級内の他の児童生徒に感染が広がっている恐れがない場合は、学級閉鎖は行わない。

- ③ 学級閉鎖の期間としては、5日程度（土日祝日を含む）を目安とする。
- ④ 学年閉鎖・学校閉鎖の判断
複数の学級が閉鎖され、かつ、学年内で感染が広がっている可能性が高い場合は、学級閉鎖を実施する。

2 感染者の自宅療養期間間際に、あるいは濃厚接触者の自宅待機期間中に、家庭内で新たな感染者が出た場合の対応について

- ① 感染者の自宅療養期間中に、家庭内で新たな感染者が出た場合、感染者は自宅待機期間を設けず、自宅療養期間の終了を以て登校することができるものとする。

(自宅療養期間終了間際に新たな感染者がでて、その日からの自宅待機期間が加算されることはない)

- ② 濃厚接触者が自宅待機中に、家庭内で新たな感染者が出た場合、濃厚接触者の自宅待機期間は、新たな感染者に対する濃厚接触者分の待機期間が適応されるものとする。

〈小澤こども課長〉

学校は基準に沿ってやりたいと思う。教頭先生複数人だったので、土日はさむので健康観察して、安全対策をとるならば月曜日まで閉じたいという意向の電話がきましたけれども、国の示している指針でいけばごもっともかなと思います。学校の先生とお子さんの行動をきくところによると、特にマスクを外して近くで行動したとかそういうのはないし、先生も終始マスクをしていたということで、集団感染を疑う行動を2日間とっていないということだった。ただ、学童はクラスも学年もバラバラになってしまうのでそこでの感染が心配されたので、Aクラスの学童を使っている子は学校で待機をしてくださいとお願いしました。保護者が迎えにきて違うところに隔離しているとびっくりしてしまうので、オクレンジャーでクラスで陽性者がでているので早めのお迎えをお願いしますということをお願いした。

同居家族で感染者がいると濃厚接触者になるんですけど、最初の感染者が治りそうになって、その後濃厚接触者が感染してしまった場合に、最初の感染者は後からなった感染者の濃厚接触者に繰り下がることはないという考えなので、個人で解決してくればよいと実体験した家庭がありました。

〈宮澤教育長〉

それを聞いたこともあったので、このようなコロナ対応を検討、月曜日に校長会があるので資料の①と②の精査をしてとおもっている。

意見等もなさそうなので、あとはこれを見直して月曜日の校長会で上げようと思う。

〈B 委員〉

ちょっと丁寧に調べればわかるってことであれば、極力閉鎖せずに行けたら。家庭でも突然閉鎖の連絡がくるので、ご両親がお勤めでいない家もあるので極力学校は止めずにやってあげたほうがいいと思う。

〈C 委員〉

上伊那も感染が多く、以前より減ってはいるんですけども1日に3人ほどの感染者がでると、辰野町はどうなっていくのかねえという話も耳にすることがあるんですけども、1日に3人も感染者がでると住民も気になってくる感じはします。それから感染しな

いように気をつけるという感じがします。

〈田中こども課長補佐〉

保育園にも感染者がいるにはいるんですけど、家庭内感染で親からもらってくるということが多い。ただ最近みなし陽性という連絡で終わり、特段医療機関にはかからないみなし陽性という子がちらほらいます。

(4) 小中学校の夏休みの反省

- ・宮澤教育長より説明。

(5) 町教育委員会研修視察

- ・小澤こども課長より説明。
研修視察場所としてつくば市ということで検討。

〈B 委員〉

学校を直接見られないというのは残念ですけど、オンラインで授業の様子は見れるし、総合研究所だったりと行く意味はあると思う。

〈宮澤教育長〉

それではこれをメインにしながら話を詰めていければと思う。22、23日と行くということを前提に、コロナの状況もあるのでどういうふうになるかわからないですけど、場合によってはダメになるかもしれませんし、状況が好転して学校も直接見に行けるかもしれないので話を進めていきたいと思います。

(5) 夏休み中の学校関係工事の進捗状況

- ・翠川こども係長より説明。
夏休み中に予定していた工事の状況確認。

7 報告事項

(1) 幼保小中高校職員合同研修会

- ・小澤こども課長より説明。
日程の確認を行った。

(2) 渡邊嘉一記念碑建立・除幕式

- ・宮澤教育長より説明。

(3) その他

- ・宮澤教育長より今後の日程の確認。

〈B 委員〉

8月22日に平出保育園のあり方検討委員会がありました。今までの町側の説明あったのを受けて、新たな委員の構成をしてリスタート気味な委員会になった印象があります。町の方の状況の説明を受ける中で、委員会の中としては東小学校との複合化というのは厳しいと前回に方向性をつけて、では建ててもらおうという意見が出て、出した要望書を差し替えるような方向になるような気がしています。その中で、移転新築というものがあったと思うんですけど、それを再要望するような方向性ではないかなと。ただ保険をかけて複合化もとっとうとう平出にあればなんでもいいやという意味にもとれたんですけど、要望書が再提出されるような感じでした。

〈小澤こども課長〉

それに関連してですが、5月21日に地域の皆さんと懇談会を行いましてそれを最後に住民の人の意見を聞く機会を終了としていましたので6月21日に今まで住民、地元関係者の皆さんから出た意見を踏まえて、2案のメリットデメリットを出したものを平出区に持っていきました。2回ほど検討委員会を開いたと聞いておりますけれど、その後の状況について一昨日の24日に平出区にお伺いしますということをお伝えしたところです。24日に22日の様子を聞いてきましたけれど、今お話ししていただいた通り、新たな要望案の検討に入っているそうです。平出区はもう10年以上待たされているので早くしてくださいと再三言われてきたので、スピード感を持って対応をしますということではありますが、ここで待たがかかると感じます。東小学校への複合案は難しいという認識を持ったのは事実みたいですが、東部保育園への統合案についてはあくまでも町の計画であって、平出区としては平出にという要望はかわりないので新たな場所へ建築をしてもらいたいという要望の検討へ行ってほしいということです。これには平出区民皆さんの意見を反映させたいのでこれからアンケートを取ったり、説明会等まだ話は詰めてないんですけど、区民の総意として要望書をまとめて再提出をしたいということでもあります。ただ要望書を出す時期などは決めてないよう平出区はそう考え検討に入ったみたいです。

8 閉会

上記は、令和4年8月26日開会の辰野町教育委員会の会議録であり、正確と認め署名する。

令和4年8月26日

教育長

教育長職務代理

教育委員

教育委員

教育委員